

ほけんだより

子ども健康部 幼児課 令和7年 7月号外

でんせんせいこうはん けいほう はつれい 伝染性紅斑の**警報**が**発令**されました

かんせんしょうはっせいどうこうちょうさ ねんだい しゅう
感染症発生動向調査において、2025年第25週(6/16~6/22)において、
でんせんせいこうはん ていてん かんじゃほうこくすう けんぜんたい
伝染性紅斑の定点あたりの患者報告数が県全体で「2.69」となり、**警報開始の基準値**である「2」を超えました。
てあら せき きほんてき かんせんたいさく あらた てつてい かんせんかくだいぼうし つと
手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染対策を改めて徹底し、感染拡大防止に努めましょう。

きそちしき 基礎知識

でんせんせいこうはん りょうほお あか ぼつ こうはん て
伝染性紅斑は、両頬に赤い発しん(紅斑)が出ることから「**リンゴ病**」とも呼ばれ、
しょうに ちゅうしん にみられる りゅうこうせい ぼつ せい びょうき かんせんけいろ かんせん ひと
小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。感染経路は、感染した人の
せき ひ すす こ ひまつかんせん かんせんしゃ ちよくせつてき
咳のしぶき(飛まつ)を吸い込むことによる飛沫感染や、感染者との直接的または
かんせつてき せつしよく せつしよくかんせん し
間接的な接触による接触感染が知られています。



しょうじょう 症状

やく 10~20日 の ちん せんぶくきかん あと びねつ しょうじょう
約10~20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い
ぼつ しょう (こうはん) があらわ つづ からだ て あし あみめじょう
発しん(紅斑)が現れ、続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がり、1週間程度で消失します。
おほ ばあい ぼつ しょう しょうげん 7~10日 くらい 前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期に最も
かんせんりよく たか ぼつ しょう しょう しょう
感染力が高くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

ちりょう よぼう 治療・予防

とくべつ ちりょうほうほう 基本的には軽い しょうじょう けい かんかんさつ ぶく しょうじょう おう ちりょう
特別な治療方法はありませぬ。基本的には軽い症状なので、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。
いっばんてき かんせんたいさく 一般的な感染対策としては、こまめな手洗いや、せきやくしゃみをする時には口と鼻をハンカチ等でおおうなどの
「咳エチケット」を心がけることが大切です。

△おとなのほうが**重くなる**△

ずつう つよ かんせつえん お おお がっべいしょう
おとながかかると頭痛や強い関節炎を起こしたり、重い合併症
を起こしたりすることがあります。また、妊娠中に感染すると、お
なかの赤ちゃんに**影響**が及ぶことがあります。

